

茨木市のまちづくりに関するアンケート(高校生)

報告書

平成 25 年 (2013 年) 3 月

茨木市

《 目 次 》

I. はじめに

1. 調査の目的	1
2. 調査の概要	1

II. 集計結果の概要

1. 回答者の属性	2
2. 今後の定住意向について（茨木市在住の方）	4
3. 今後の定住意向について（茨木市以外に在住の方）	8
4. 市政に関する情報の入手方法について.....	12
5. これからのまちづくりについて.....	13
6. 主要な分野ごとの取り組みについて.....	15
7. まちづくりにおける市民参画について.....	23
8. 理想のライフコース（生き方）について.....	25

【参考資料】 アンケート調査票

I. はじめに

1. 調査の目的

「第4次茨木市総合計画」が平成27年度に目標年次を迎えるにあたり、これに続く「(仮称)第5次茨木市総合計画」の策定に向け、高校生が日頃まちづくりについて考えていることや、まちづくりに対する率直な意見を把握し、計画策定の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の概要

(1) 調査対象

茨木市内に立地する公立高等学校（6校）の生徒1,562人。

図表I-1 調査対象

高等学校名	人数
春日丘高等学校	315
茨木高等学校	338
茨木西高等学校	268
北摂つばさ高等学校	225
福井高等学校	174
茨木工科高等学校	242
合計	1,562

(2) 調査時期

平成25年2月4日（月）～平成25年2月18日（月）。

(3) 調査方法

各高等学校を通じて配布・回収。

(4) 回収率等

配布・回収数	1,562 票
有効回収数	1,558 票
有効回収率	99.7%

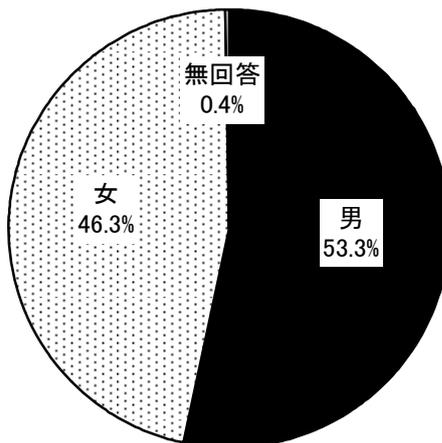
II. 集計結果の概要

1. 回答者の属性

(1) 性別 [問 1]

性別は「男性」53.3%、「女性」46.3%で「男性」のほうが多い。

図表II-1 性別

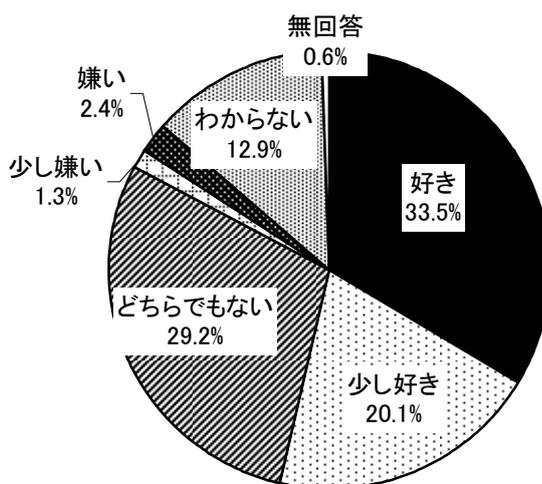


(N=1558)

(2) 茨木市に対する考え [問 2]

茨木市に対する考えについては「好き」が33.5%で最も多く、ついで「どちらでもない」が29.2%、「少し好き」が20.1%となっている。

図表II-2 茨木市が好きか

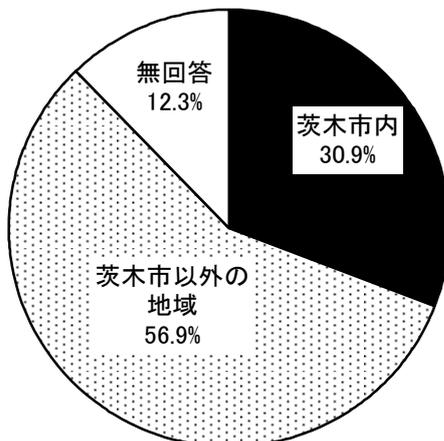


(N=1558)

(3) 居住地 [問 3]

居住地は「茨木市内」が 30.9%、「茨木市以外の地域」56.9%で「茨木市以外の地域」のほうが多い。

図表II-3 居住地



(N=1558)

図表II-4 居住地(クロス集計)

	調査数	茨木市内	茨木市以外の地域	無回答	
市全体	1558 100.0	481 30.9	886 56.9	191 12.3	
高等学校	春日丘高等学校	315 100.0	75 23.8	221 70.2	19 6.0
	茨木高等学校	338 100.0	74 21.9	234 69.2	30 8.9
	茨木西高等学校	265 100.0	93 35.1	133 50.2	39 14.7
	北摂つばさ高等学校	224 100.0	70 31.3	115 51.3	39 17.4
	福井高等学校	174 100.0	102 58.6	56 32.2	16 9.2
	茨木工科高等学校	242 100.0	67 27.7	127 52.5	48 19.8

(注) 上段：件数、下段：%

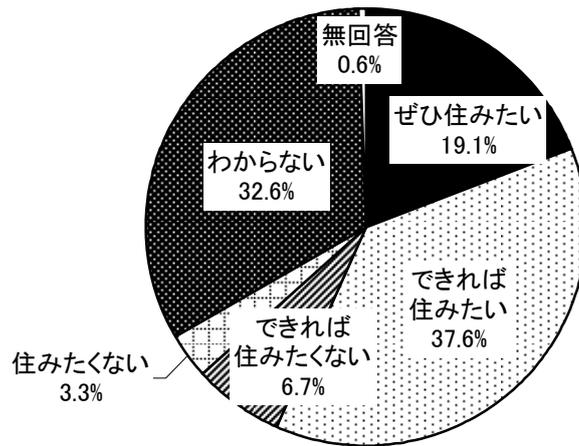
黒地の白文字は市全体の割合を 10 ポイント以上上回るもの、グレーの網掛けは市全体の割合を 10 ポイント以上下回るものである。(以下同様)

2. 今後の定住意向について(茨木市在住の方)

(1) 大学生や社会人になってからの居住意向 [問 4]

茨木市内に住んでいる高校生の、大学生や社会人になってからの居住意向としては、「できれば住みたい」が37.6%で最も多く、ついで「わからない」が32.6%、「ぜひ住みたい」が19.1%となっている。

図表II-5 大学生や社会人になってからの居住意向



(N=481)

居住意向については、男女別でそれほど大きな差異はみられない。

図表II-6 大学生や社会人になってからの居住意向(クロス集計)

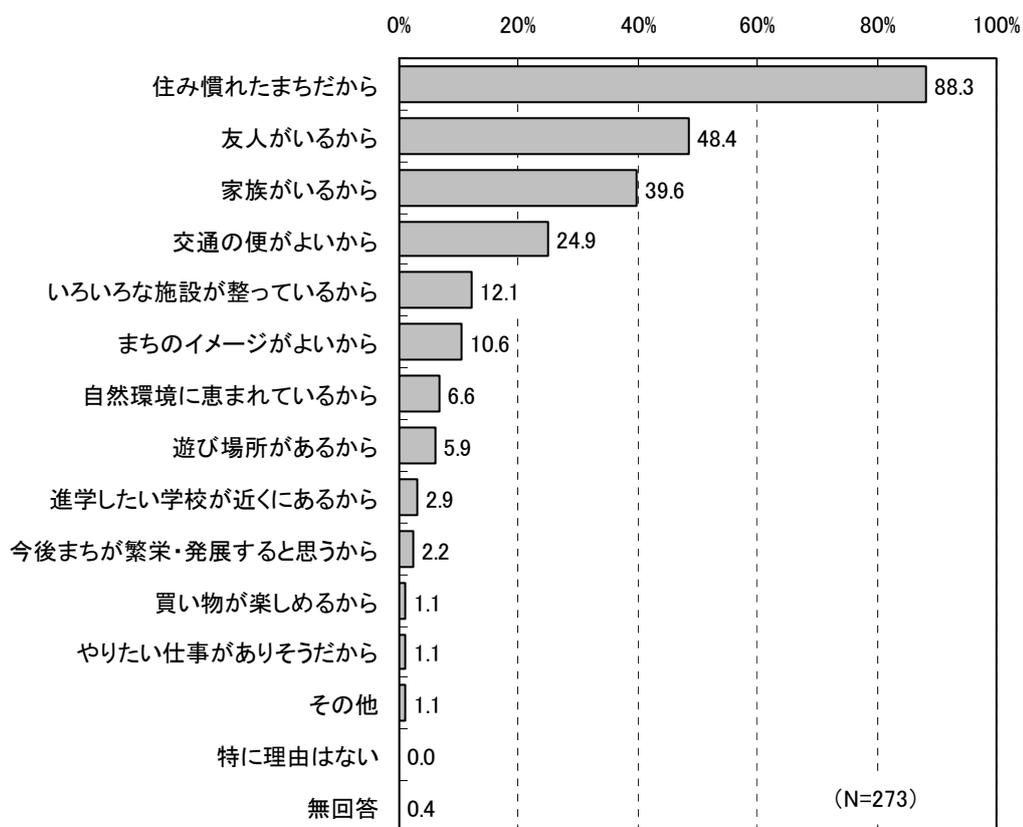
		調査数	ぜひ住みたい	できれば住みたい	できれば住みたくない	住みたくない	わからない	無回答
市全体		481	92	181	32	16	157	3
		100.0	19.1	37.6	6.7	3.3	32.6	0.6
性別	男	262	50	95	17	11	89	0
		100.0	19.1	36.3	6.5	4.2	34.0	0.0
女		218	42	86	15	5	67	3
		100.0	19.3	39.4	6.9	2.3	30.7	1.4

(2) 住みたい理由 [問5]

茨木市内に住みたい理由は、「住み慣れたまちだから」が88.3%で最も多く、ついで「友人がいるから」が48.4%、「家族がいるから」が39.6%となっている。

高校生の場合、生まれてからずっと同じ場所に住んでいる回答者が多いことが予想されるため、外部環境に起因する要素よりも、地域とのつながりの影響が強いことがうかがえる。

図表II-7 住みたい理由(複数回答)



男女別にみると、男性よりも女性のほうが、「家族がいるから」の割合が高くなっている。

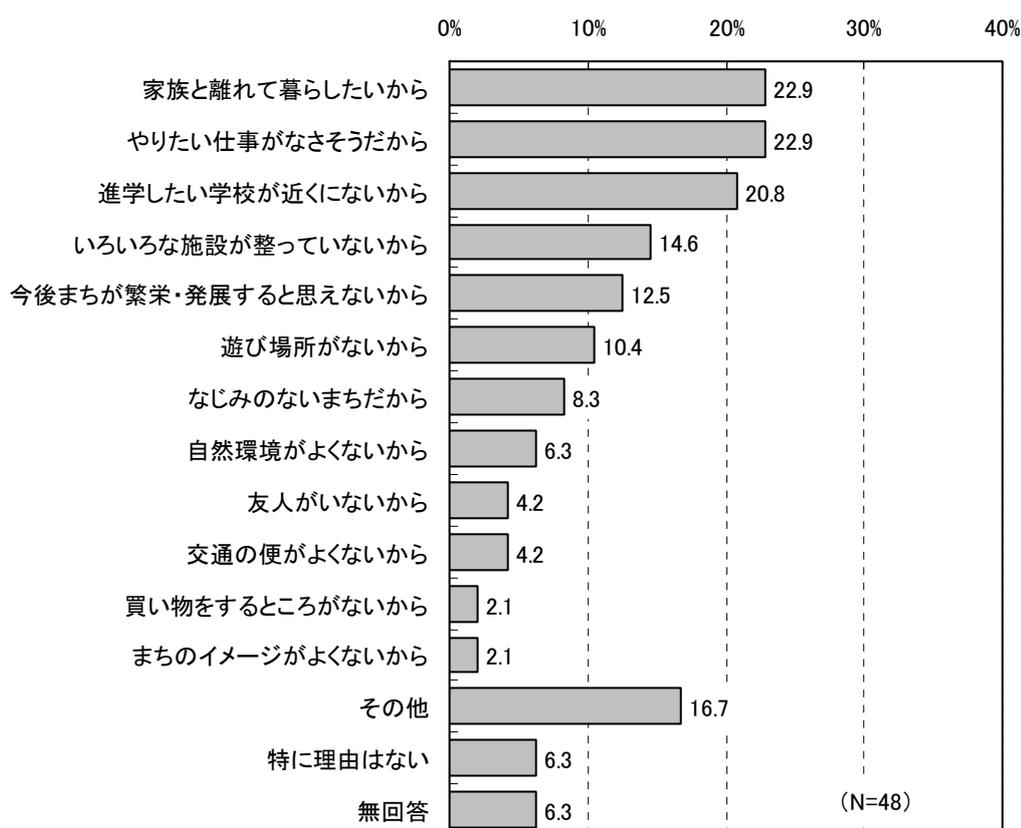
図表II-8 住みたい理由(クロス集計)

	調査数	住み慣れたまちだから	友人がいるから	家族がいるから	交通の便がよいから	いろいろな施設が整っているから	遊び場所があるから	買い物を楽しめるから	自然環境に恵まれているから	進学したい学校が近くにあるから	やりたい仕事がありそうだから	今後まちが繁栄・発展すると思うから	まちのイメージがよいから	その他	特に理由はない	無回答
市全体	273 100.0	241 88.3	132 48.4	108 39.6	68 24.9	33 12.1	16 5.9	3 1.1	18 6.6	8 2.9	3 1.1	6 2.2	29 10.6	3 1.1	0 0.0	1 0.4
性別																
男	145 100.0	131 90.3	68 46.9	39 26.9	38 26.2	21 14.5	11 7.6	1 0.7	12 8.3	2 1.4	2 1.4	5 3.4	21 14.5	1 0.7	0 0.0	0 0.0
女	128 100.0	110 85.9	64 50.0	69 53.9	30 23.4	12 9.4	5 3.9	2 1.6	6 4.7	6 4.7	1 0.8	1 0.8	8 6.3	2 1.6	0 0.0	1 0.8

(3) 住みたくない理由 [問 6]

茨木市内に住みたくない理由は、「家族と離れて暮らしたいから」、「やりたい仕事がないから」がともに 22.9%で最も多く、ついで「進学したい学校が近くにないから」が 20.8%となっており、進学や就職を機に茨木市を離れる可能性がある回答者も一定程度いると考えられる。

図表II-9 住みたくない理由(複数回答)



図表II-10 住みたくない理由(クロス集計)

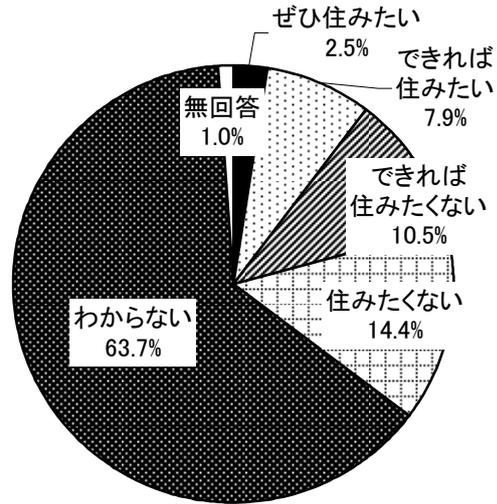
	調査数	なじみのないまちだから	友人がいないから	家族と離れて暮らしたいから	交通の便がよくないから	いろいろな施設が整っていないから	遊び場所がないから	買い物をするところがないから	自然環境がよくないから	進学したい学校が近くにないから	やりたい仕事がないから	今後まちが繁栄・発展すると思えないから	まちのイメージがよくないから	その他	特に理由はない	無回答
市全体	48 100.0	4 8.3	2 4.2	11 22.9	2 4.2	7 14.6	5 10.4	1 2.1	3 6.3	10 20.8	11 22.9	6 12.5	1 2.1	8 16.7	3 6.3	3 6.3
性別																
男	28 100.0	2 7.1	2 7.1	6 21.4	1 3.6	6 21.4	3 10.7	0 0.0	3 10.7	5 17.9	5 17.9	4 14.3	1 3.6	3 10.7	2 7.1	3 10.7
女	20 100.0	2 10.0	0 0.0	5 25.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	0 0.0	5 25.0	6 30.0	2 10.0	0 0.0	5 25.0	1 5.0	0 0.0

3. 今後の定住意向について(茨木市以外に在住の方)

(1) 社会人や大学生になったときの居留意向 [問7]

茨木市以外の地域に住んでいる高校生の、社会人や大学生になったときの居留意向は「わからない」が63.7%で最も多く、ついで「住みたくない」が14.4%、「できれば住みたくない」が10.5%となっている。

図表II-11 大学生や社会人になったときの居留意向



(N=886)

図表II-12 大学生や社会人になったときの居留意向(クロス集計)

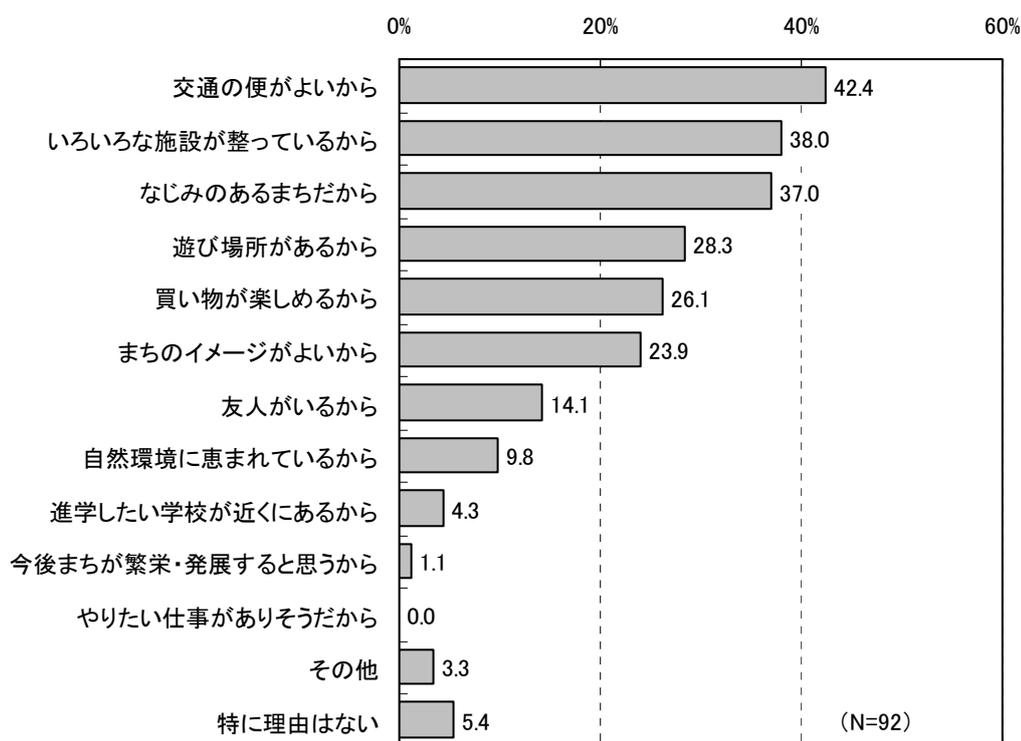
		調査数	ぜひ住みたい	できれば住みたい	できれば住みたくない	住みたくない	わからない	無回答
市全体		886	22	70	93	128	564	9
		100.0	2.5	7.9	10.5	14.4	63.7	1.0
性別	男	464	14	34	41	59	308	8
	女	419	8	35	52	69	254	1
		100.0	3.0	7.3	8.8	12.7	66.4	1.7
		100.0	1.9	8.4	12.4	16.5	60.6	0.2

(2) 住みたい理由 [問 8]

茨木市内に住みたい理由は「交通の便がよいから」が 42.4%で最も多く、ついで「いろいろな施設が整っているから」が 38.0%、「なじみのあるまちだから」が 37.0%となっている。

「住みたい理由」の場合は、茨木市内在住の回答者とは視点が異なり、外部環境に起因する要素の影響が強いことがうかがえる。

図表II-13 住みたい理由(複数回答)



図表II-14 住みたい理由(クロス集計)

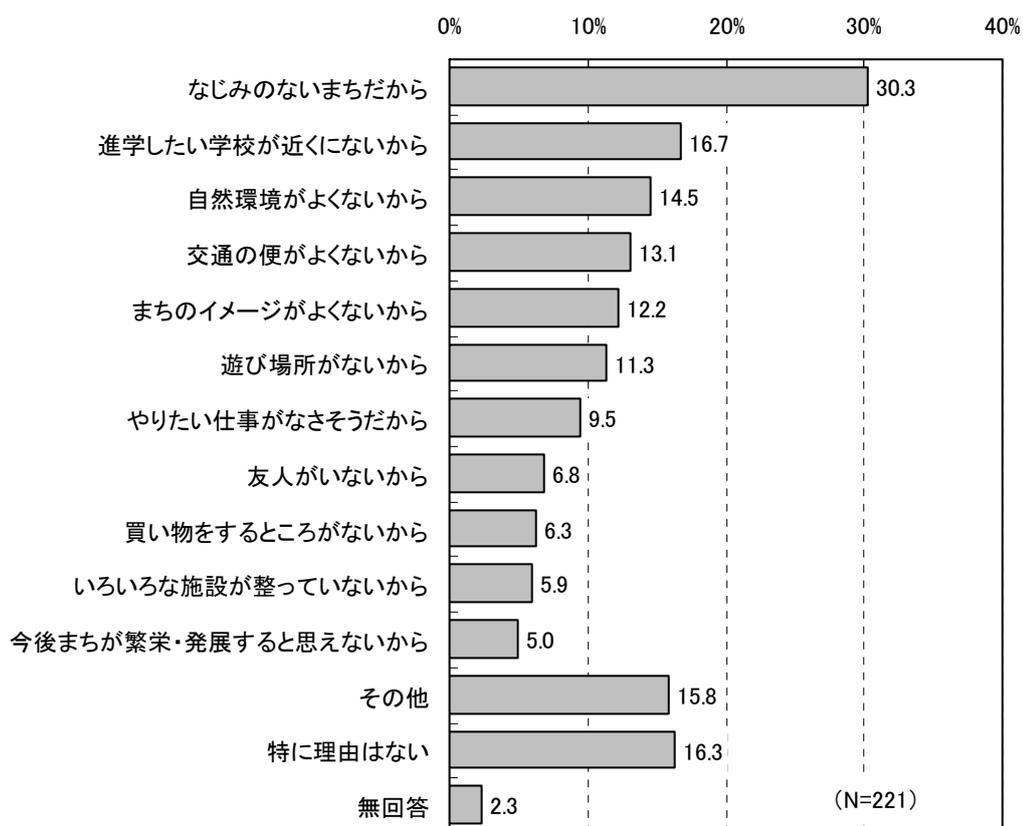
	調査数	なじみのあるまちだから	友人がいるから	交通の便がよいから	いろいろな施設が整っているから	遊び場所があるから	買い物が楽しめるから	自然環境に恵まれているから	進学したい学校が近くにあるから	やりたい仕事がありそうだから	今後まちが繁栄・発展すると思うから	まちのイメージがよいから	その他	特に理由はない
市全体	92	34	13	39	35	26	24	9	4	0	1	22	3	5
	100.0	37.0	14.1	42.4	38.0	28.3	26.1	9.8	4.3	0.0	1.1	23.9	3.3	5.4
性別														
男	48	19	6	24	18	17	10	4	3	0	1	11	2	2
	100.0	39.6	12.5	50.0	37.5	35.4	20.8	8.3	6.3	0.0	2.1	22.9	4.2	4.2
女	43	14	7	14	17	9	14	5	1	0	0	11	1	3
	100.0	32.6	16.3	32.6	39.5	20.9	32.6	11.6	2.3	0.0	0.0	25.6	2.3	7.0

(3) 住みたくない理由 [問9]

茨木市内に住みたくない理由は「なじみのないまちだから」が30.3%で最も多く、ついで「進学したい学校が近くにないから」が16.7%、「特に理由はない」が16.3%となっている。

また、「その他」15.8%の内容のうち最も多い理由は、「地元に住みたいから」である。

図表II-15 住みたくない理由(複数回答)



男女別にみると、男性では「自然環境がよくないから」の割合が女性よりも大幅に高く、女性では「なじみのないまちだから」の割合が男性よりも高くなっている。

図表II-16 住みたくない理由(クロス集計)

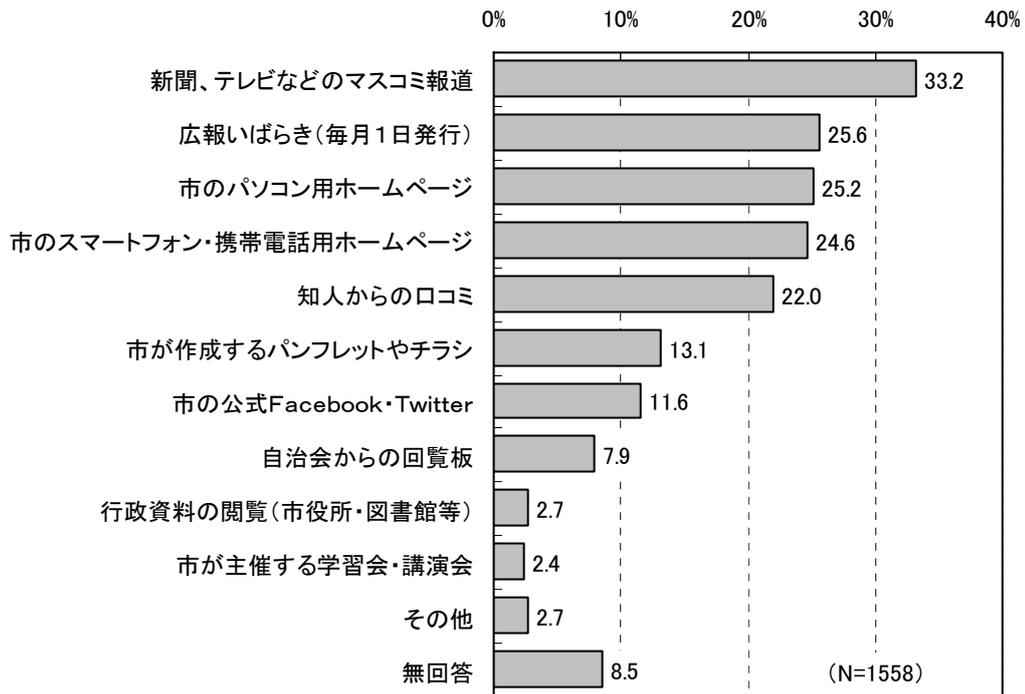
	調査数	なじみのないまちだから	友人がいないから	交通の便がよくないから	いろいろな施設が整っていないから	遊び場所がないから	買い物をするところがないから	自然環境がよくないから	進学したい学校が近くにないから	やりたい仕事がないから	今後まちが繁栄・発展すると思えないから	まちのイメージがよくないから	その他	特に理由はない	無回答	
市全体	221 100.0	67 30.3	15 6.8	29 13.1	13 5.9	25 11.3	14 6.3	32 14.5	37 16.7	21 9.5	11 5.0	27 12.2	35 15.8	36 16.3	5 2.3	
性別	男	100 100.0	23 23.0	5 5.0	12 12.0	8 8.0	10 10.0	5 5.0	20 20.0	16 16.0	9 9.0	8 8.0	18 18.0	18 18.0	15 15.0	3 3.0
	女	121 100.0	44 36.4	10 8.3	17 14.0	5 4.1	15 12.4	9 7.4	12 9.9	21 17.4	12 9.9	3 2.5	9 7.4	17 14.0	21 17.4	2 1.7

4. 市政に関する情報の入手方法について

(1) 期待する情報入手手段 [問 10]

市政に関する情報入手の手段として期待するものは「新聞、テレビなどのマスコミ報道」が33.2%で最も多く、ついで「広報いばらき（毎月1日発行）」が25.6%、「市のパソコン用ホームページ」が25.2%となっている。

図表II-17 期待する情報入手手段(複数回答)



図表II-18 期待する情報入手手段(クロス集計)

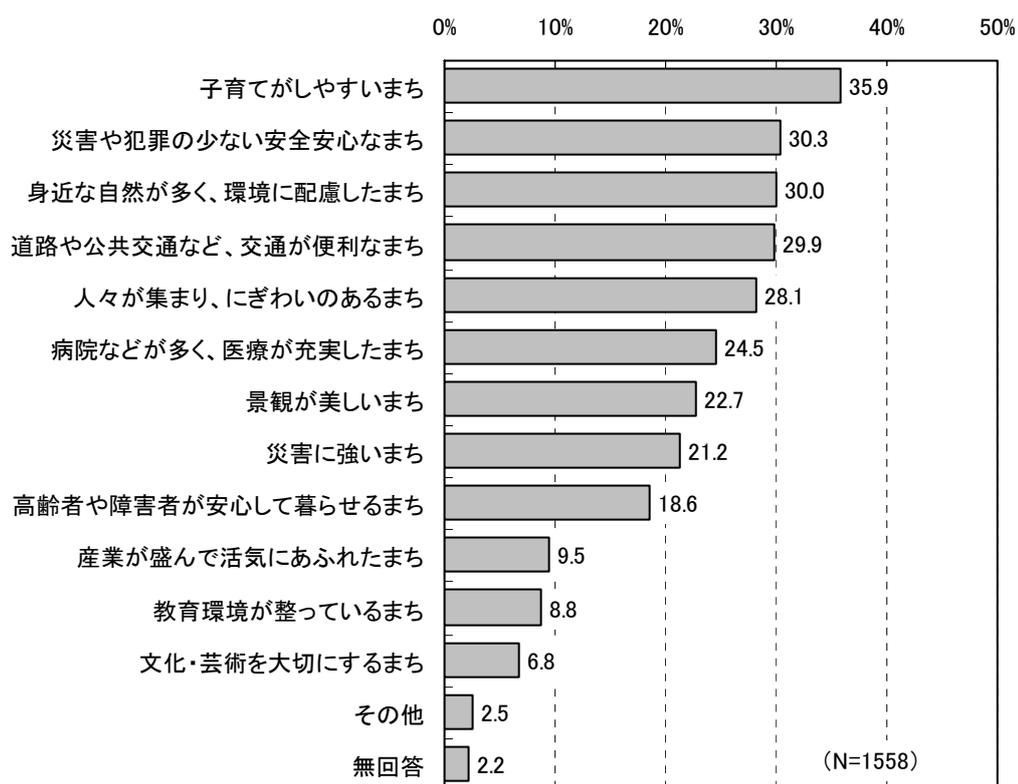
	調査数	発行) 広報いばらき(毎月1日)	市のパソコン用ホームページ	市のスマートフォン・携帯電話用ホームページ	市の公式Facebook・Twitter	新聞、テレビなどのマスコミ報道	市が主催する学習会・講演会	自治会からの回覧板	市が作成するパンフレットやチラシ	行政資料の閲覧(市役所・図書館等)	知人からの口コミ	その他	無回答
市全体	1558	399	393	384	180	518	38	123	204	42	342	42	133
	100.0	25.6	25.2	24.6	11.6	33.2	2.4	7.9	13.1	2.7	22.0	2.7	8.5
性別	男	831	194	218	221	91	293	26	76	26	195	23	74
		100.0	23.3	26.2	26.6	11.0	35.3	3.1	9.1	3.1	23.5	2.8	8.9
女	721	205	173	162	89	225	12	46	105	16	146	19	57
	100.0	28.4	24.0	22.5	12.3	31.2	1.7	6.4	14.6	2.2	20.2	2.6	7.9
住まい	茨木市内	481	220	102	112	45	149	7	62	12	84	6	33
		100.0	45.7	21.2	23.3	9.4	31.0	1.5	12.9	2.5	17.5	1.2	6.9
茨木市以外の地域	886	140	257	229	113	313	24	46	128	27	199	30	80
	100.0	15.8	29.0	25.8	12.8	35.3	2.7	5.2	14.4	3.0	22.5	3.4	9.0

5. これからのまちづくりについて

(1) 将来どんなまちに住みたいか [問 11]

将来どんなまちに住みたいかについては、「子育てがしやすいまち」が 35.9%で最も多く、ついで「災害や犯罪の少ない安全安心なまち」が 30.3%、「身近な自然が多く、環境に配慮したまち」が 30.0%となっている。

図表II-19 将来どんなまちに住みたいか(複数回答)



男女別にみると、女性では「子育てがしやすいまち」の割合が男性よりも大幅に高くなっている。

居住地域別でみると、茨木市内では「高齢者や障害者が安心して暮らせるまち」の割合が、茨木市以外の地域よりも高くなっている。

図表II-20 将来どんなまちに住みたいか(クロス集計)

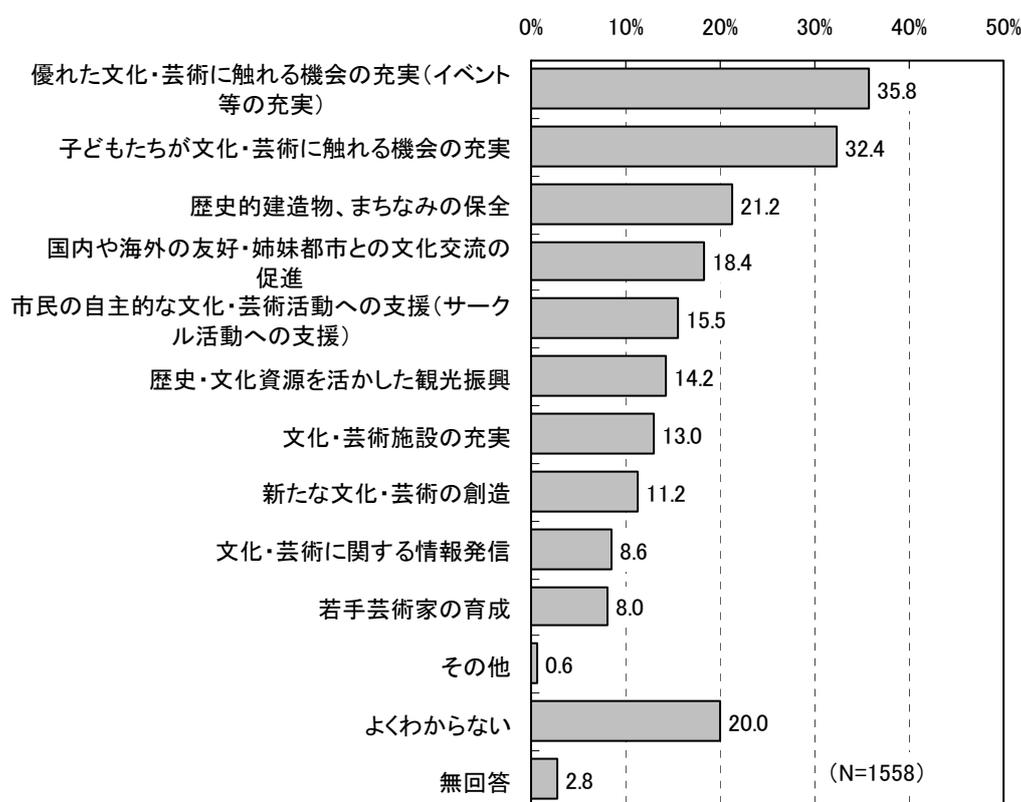
	調査数	高齢者や障害者が安心して暮らせるまち	子育てがしやすいまち	病院などが多く、医療が充実したまち	災害に強いまち	身近な自然が多く、環境に配慮したまち	産業が盛んで活気にあふれたまち	人々が集まり、にぎわいのあるまち	景観が美しいまち	道路や公共交通などが便利なまち	教育環境が整っているまち	災害や犯罪の少ない安全なまち	文化・芸術を大切にす	その他	無回答	
市全体	1558 100.0	290 18.6	559 35.9	381 24.5	330 21.2	468 30.0	148 9.5	438 28.1	353 22.7	466 29.9	137 8.8	472 30.3	106 6.8	39 2.5	35 2.2	
性別	男	831 100.0	140 16.8	233 28.0	199 23.9	186 22.4	265 31.9	85 10.2	212 25.5	195 23.5	241 29.0	79 9.5	246 29.6	53 6.4	29 3.5	22 2.6
	女	721 100.0	148 20.5	324 44.9	181 25.1	143 19.8	202 28.0	62 8.6	223 30.9	156 21.6	224 31.1	56 7.8	223 30.9	53 7.4	10 1.4	12 1.7
住まい	茨木市内	481 100.0	116 24.1	167 34.7	110 22.9	97 20.2	135 28.1	48 10.0	144 29.9	110 22.9	121 25.2	33 6.9	153 31.8	38 7.9	10 2.1	14 2.9
	茨木市以外の地域	886 100.0	139 15.7	314 35.4	214 24.2	189 21.3	293 33.1	80 9.0	237 26.7	212 23.9	283 31.9	93 10.5	273 30.8	59 6.7	22 2.5	15 1.7

6. 主要な分野ごとの取り組みについて

(1) 最も重要だと思う文化・芸術に関する取り組み [問 12]

市が行う文化・芸術に関する取り組みについて、最も重要だと思うものは「優れた文化・芸術に触れる機会の充実（イベント等の充実）」が 35.8%で最も多く、ついで「子どもたちが文化・芸術に触れる機会の充実」が 32.4%、「歴史的建造物、まちなみの保全」が 21.2%となっている。

図表II-21 最も重要だと思う文化・芸術に関する取り組み（複数回答）



性別、居住地域別のいずれでも、「優れた文化・芸術に触れる機会の充実」と「子どもたちが文化・芸術に触れる機会の充実」の割合が高くなっている。

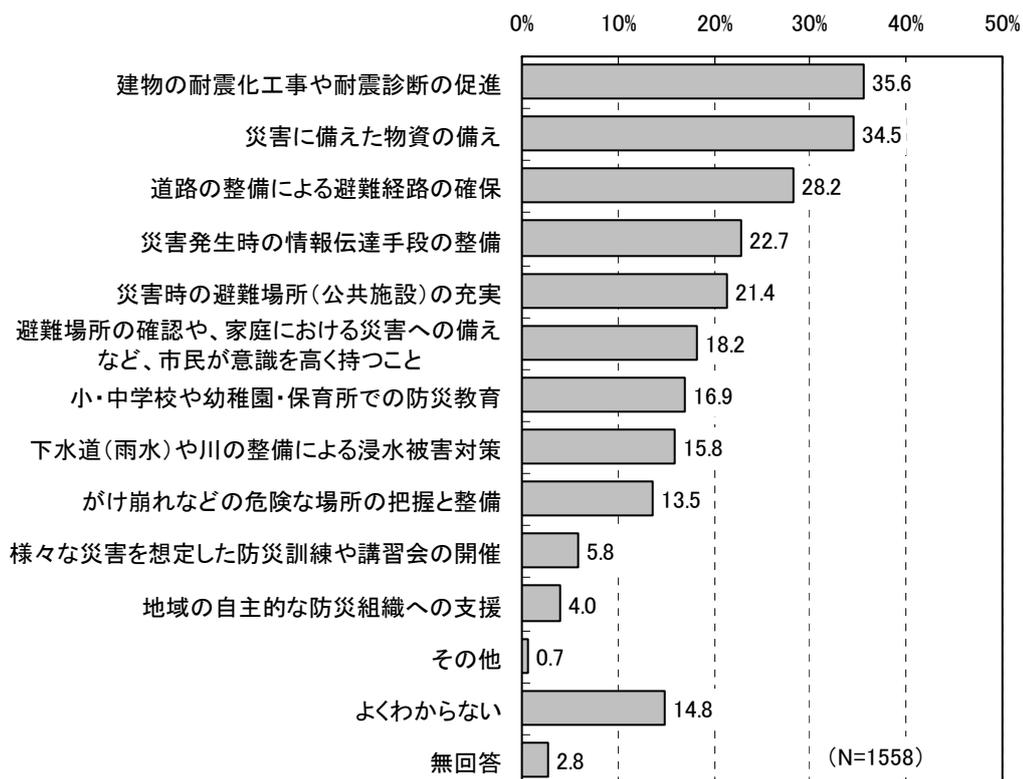
図表II-22最も重要だと思う文化・芸術に関する取り組み(クロス集計)

	調査数	等 の 充 実	優 れ た 文 化 ・ 芸 術 に 触 れ る 機 会 の 充 実 (イ ベ ン ト に 触 れ る 機 会 の 充 実)	市 民 の 自 主 的 な 文 化 ・ 芸 術 活 動 へ の 支 援 (サ ー ク ル 活 動 へ の 支 援)	文 化 ・ 芸 術 に 関 する 情 報 発 信	文 化 ・ 芸 術 施 設 の 充 実	子 ど も た ち が 文 化 ・ 芸 術 に 触 れ る 機 会 の 充 実	若 手 芸 術 家 の 育 成	新 た な 文 化 ・ 芸 術 の 創 造	歴 史 的 建 造 物 、 ま ち な み の 保 全	歴 史 ・ 文 化 資 源 を 活 か し た 観 光 振 興	都 内 や 海 外 の 文 化 交 流 の 促 進	国 内 の 友 好 の 姉 妹 進 出	そ の 他	よ く わ か ら な い	無 回 答
市全体	1558 100.0	557 35.8	241 15.5	134 8.6	203 13.0	505 32.4	125 8.0	174 11.2	331 21.2	222 14.2	287 18.4	10 0.6	312 20.0	44 2.8		
性別	男	831 100.0	280 33.7	115 13.8	87 10.5	101 12.2	243 29.2	79 9.5	111 13.4	184 22.1	123 14.8	134 16.1	7 0.8	186 22.4	29 3.5	
	女	721 100.0	276 38.3	126 17.5	47 6.5	102 14.1	262 36.3	45 6.2	61 8.5	146 20.2	98 13.6	153 21.2	3 0.4	124 17.2	14 1.9	
住まい	茨木市内	481 100.0	198 41.2	83 17.3	44 9.1	59 12.3	177 36.8	34 7.1	59 12.3	104 21.6	55 11.4	98 20.4	6 1.2	74 15.4	12 2.5	
	茨木市以外の地域	886 100.0	306 34.5	126 14.2	70 7.9	124 14.0	274 30.9	79 8.9	86 9.7	198 22.3	147 16.6	160 18.1	3 0.3	196 22.1	22 2.5	

(2) 最も重要だと思う防災に関する取り組み [問 13]

市が行う防災に関する取り組みについて、最も重要だと思うものは「建物の耐震化工事や耐震診断の促進」が35.6%で最も多く、ついで「災害に備えた物資の備え」が34.5%、「道路の整備による避難経路の確保」が28.2%となっている。

図表II-23 最も重要だと思う防災に関する取り組み(複数回答)



男女別にみると、女性では「災害時の避難場所（公共施設）の充実」の割合が男性よりも大幅に高くなっている。

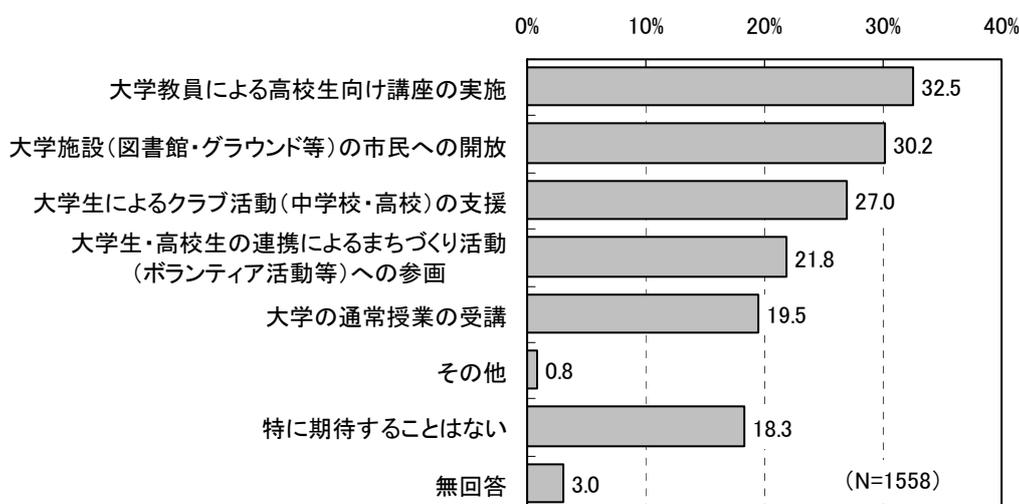
図表II-24 最も重要だと思う防災に関する取り組み(クロス集計)

	調査数	道路の整備による避難経路の確保	建物の耐震化工事や耐震診断の促進	下水道（雨水）や川の整備	がけ崩れなどの危険な場所の把握と整備	災害発生時の情報伝達手段の整備	災害に備えた物資の備え	災害時の避難場所（公共施設）の充実	様々な災害を想定した防災訓練や講習会の開催	小・中学校や幼稚園・保育所での防災教育	市民が意識を高く持つこと	避難場所の確認や、家庭における災害への備えなど	地域の自主的な防災組織への支援	その他	よくわからない	無回答
市全体	1558 100.0	439 28.2	554 35.6	246 15.8	211 13.5	353 22.7	538 34.5	333 21.4	90 5.8	264 16.9	283 18.2	62 4.0	11 0.7	231 14.8	43 2.8	
性別	男	831 100.0	246 29.6	318 38.3	166 20.0	114 13.7	183 22.0	270 32.5	45 5.4	126 15.2	128 15.4	31 3.7	8 1.0	128 15.4	26 3.1	
	女	721 100.0	192 26.6	235 32.6	80 11.1	96 13.3	169 23.4	266 36.9	192 26.6	45 6.2	138 19.1	155 21.5	31 4.3	3 0.4	101 14.0	16 2.2
住まい	茨木市内	481 100.0	159 33.1	188 39.1	90 18.7	62 12.9	119 24.7	174 36.2	20 4.2	90 18.7	89 18.5	20 4.2	2 0.4	46 9.6	13 2.7	
	茨木市以外の地域	886 100.0	235 26.5	309 34.9	121 13.7	116 13.1	204 23.0	302 34.1	206 23.3	59 6.7	141 15.9	167 18.8	35 4.0	7 0.8	147 16.6	23 2.6

(3) 最も重要だと思う大学連携に関する取り組み [問 14]

大学連携（市内等にある大学が、高校・高校生等と連携して地域の活性化や地域貢献を行うこと）に関する取り組みについて、最も重要だと思うものは「大学教員による高校生向け講座の実施」が 32.5%で最も多く、ついで「大学施設（図書館・グラウンド等）の市民への開放」が 30.2%、「大学生によるクラブ活動（中学校・高校）の支援」が 27.0%となっている。

図表II-25 最も重要だと思う大学連携に関する取り組み(複数回答)



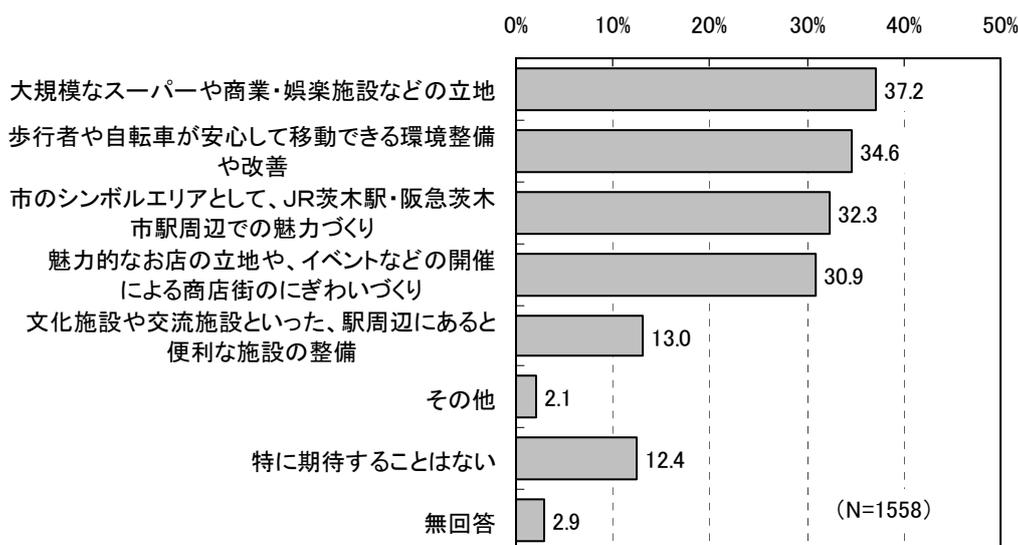
図表II-26 最も重要だと思う大学連携に関する取り組み(クロス集計)

	調査数	講座の 大学 の 実 施 による 高 校 生 向 け	大 学 の 通 常 授 業 の 受 講	大 学 生 ・ 高 校 生 の 連 携 に よ る ま ち づ く り 活 動 の 参 画	大 学 施 設 の 市 民 へ の 開 放	大 学 生 に よ る ク ラ ブ 活 動 の 支 援	そ の 他	特 に 期 待 す る こ と は な い	無 回 答	
市全体	1558 100.0	507 32.5	304 19.5	339 21.8	471 30.2	420 27.0	12 0.8	285 18.3	47 3.0	
性別	男	831 100.0	261 31.4	151 18.2	158 19.0	261 31.4	247 29.7	7 0.8	167 20.1	31 3.7
	女	721 100.0	245 34.0	152 21.1	181 25.1	210 29.1	172 23.9	5 0.7	115 16.0	15 2.1
住まい	茨木市内	481 100.0	153 31.8	99 20.6	110 22.9	167 34.7	144 29.9	3 0.6	76 15.8	11 2.3
	茨木市以外の地域	886 100.0	303 34.2	170 19.2	189 21.3	263 29.7	226 25.5	6 0.7	166 18.7	25 2.8

(4) 市中心部でのまちづくりについて期待すること [問 15]

市中心部でのまちづくりについて期待することは「大規模なスーパーや商業・娯楽施設などの立地」が 37.2%で最も多く、ついで「歩行者や自転車が安心して移動できる環境整備や改善」が 34.6%、「市のシンボルエリアとして、JR茨木駅・阪急茨木市駅周辺での魅力づくり」が 32.3%となっている。

図表II-27 市中心部でのまちづくりについて期待すること(複数回答)



男女別にみると、女性では「魅力的なお店の立地や、イベントなどの開催による商店街のにぎわいづくり」の割合が高くなっている。

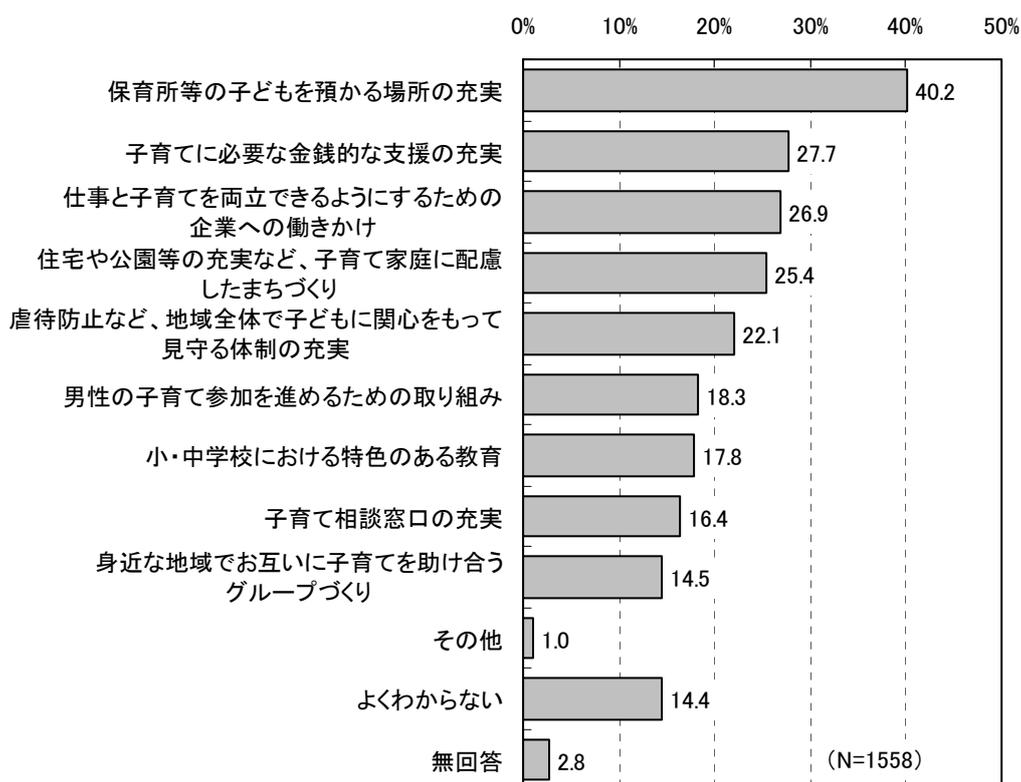
図表II-28 市中心部でのまちづくりについて期待すること(クロス集計)

	調査数	市街の中心部での魅力づくり	大規模なスーパーや娯楽施設などの立地	文化施設や交流施設を整備する	歩行者や自転車が安心して移動できる環境整備	その他	特に期待することはない	無回答		
市全体	1558	504 32.3	482 30.9	579 37.2	202 13.0	539 34.6	32 2.1	193 12.4	45 2.9	
性別	男	831	277	221	330	110	274	23	113	29
	女	721	226	260	249	92	264	9	77	15
住まい	茨木市内	481	169	160	197	77	171	7	42	10
	茨木市以外の地域	886	277	264	313	103	320	18	121	27
		100.0	31.3	29.8	35.3	11.6	36.1	2.0	13.7	3.0

(5) 最も重要だと思う子育て支援のための取り組み [問 16]

子育て支援のための取り組みとして最も重要だと思われるものは「保育所等の子どもを預かる場所の充実」が40.2%で最も多く、ついで「子育てに必要な金銭的な支援の充実」が27.7%、「仕事と子育てを両立できるようにするための企業への働きかけ」が26.9%となっている。

図表II-29 最も重要だと思う子育て支援のための取り組み(複数回答)



男女別にみると、女性では「保育所等の子どもを預かる場所の充実」の割合が男性よりも大幅に高くなっているほか、「仕事と子育てを両立できるようにするための企業への働きかけ」の割合も、男性より高くなっている。

図表II-30 最も重要だと思う子育て支援のための取り組み(クロス集計)

	調査数	保育所等の子どもを預かる場所の充実	子育て相談窓口の充実	男性の子育て参加を進めるための取り組み	子育て支援の充実(近隣の地域で子育てを助けるグループなど)	仕事と子育てを両立できるようにするための企業への働きかけ	小・中学校における特色のある教育	医療費の補助(例：子ども医療費の免除など)	子育てに必要なお金(例：住宅手当など)の充実	住宅や公園等の充実	見守り体制の充実	虐待防止など、地域全体	その他	よくわからない	無回答
市全体	1558 100.0	627 40.2	256 16.4	285 18.3	226 14.5	419 26.9	277 17.8	432 27.7	395 25.4	344 22.1	15 1.0	225 14.4	44 2.8		
性別	男	831 100.0	274 33.0	130 15.6	159 19.1	124 14.9	193 23.2	170 20.5	227 27.3	200 24.1	176 21.2	12 1.4	142 17.1	31 3.7	
	女	721 100.0	351 48.7	126 17.5	126 17.5	102 14.1	226 31.3	107 14.8	205 28.4	193 26.8	166 23.0	3 0.4	81 11.2	12 1.7	
住まい	茨木市内	481 100.0	211 43.9	84 17.5	97 20.2	66 13.7	133 27.7	96 20.0	157 32.6	126 26.2	108 22.5	5 1.0	46 9.6	13 2.7	
	茨木市以外の地域	886 100.0	350 39.5	135 15.2	160 18.1	126 14.2	253 28.6	147 16.6	234 26.4	230 26.0	194 21.9	9 1.0	143 16.1	23 2.6	

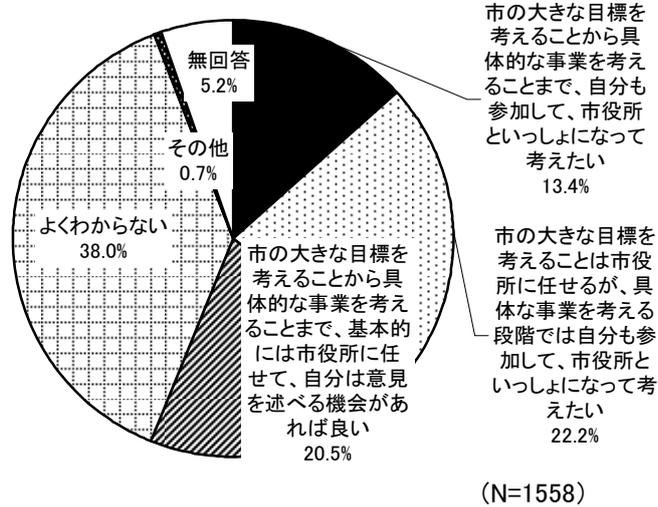
7. まちづくりにおける市民参画について

(1) まちづくりへの市民の関わり方 [問 17]

まちづくりへの市民の関わり方については「よくわからない」が38.0%で最も多くなっている。

一方で、「市の大きな目標を考えることから具体的な事業を考えることまで、自分も参加して、市役所といっしょになって考えたい」が13.4%、「市の大きな目標を考えることは市役所に任せるが、具体的な事業を考える段階では自分も参加して、市役所といっしょになって考えたい」が22.2%であり、約4割は、「市役所といっしょになって考えたい」という意向を示している。

図表II-31 まちづくりへの市民の関わり方



男女別にみると、「市の大きな目標を考えることから具体的な事業を考えることまで、自分も参加して、市役所といっしょになって考えたい」の割合は男性のほうがやや高くなっており、「市の大きな目標を考えることは市役所に任せるが、具体的な事業を考える段階では自分も参加して、市役所といっしょになって考えたい」の割合は、女性のほうが高くなっている。

図表II-32 まちづくりへの市民の関わり方(クロス集計)

	調査数	た役とから市の い所らの大 といまの具 しつ自体的 し分な目 よも事標 に参業を な加し考 つて考 て、え え市こ	に参事 な加業 つて考 て、え え市こ	は市の 役所を に任 せ る が、 具 体 な	機 会 が あ れ ば 良 い 見 を 述 べ る	と ま ま 自 本 分 的 な 目 標 を 考 え る こ と	よ く わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
市全体	1558 100.0	208 13.4	346 22.2	320 20.5	592 38.0	11 0.7	81 5.2		
性別	男	831 100.0	126 15.2	165 19.9	170 20.5	314 37.8	5 6.1		
	女	721 100.0	82 11.4	180 25.0	150 20.8	275 38.1	6 3.9		
住まい	茨木市内	481 100.0	87 18.1	83 17.3	114 23.7	169 35.1	5 4.8		
	茨木市以外の地域	886 100.0	101 11.4	216 24.4	173 19.5	345 38.9	4 0.5		

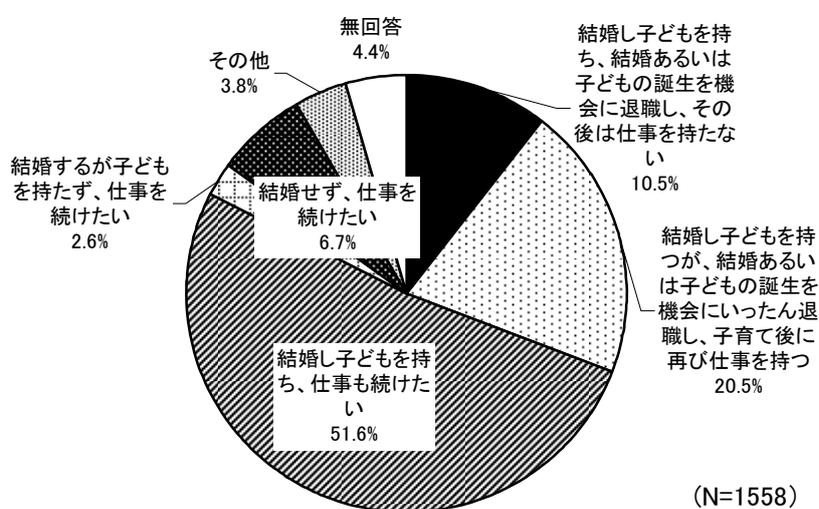
8. 理想のライフコース(生き方)について

(1) 理想とするライフコース[問 18]

① 自分自身

自分自身については「結婚し子どもを持ち、仕事も続けたい」が51.6%で最も多く、ついで「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは子どもの誕生を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が20.5%、「結婚し子どもを持ち、結婚あるいは子どもの誕生を機会に退職し、その後は仕事を持たない」が10.5%となっている。

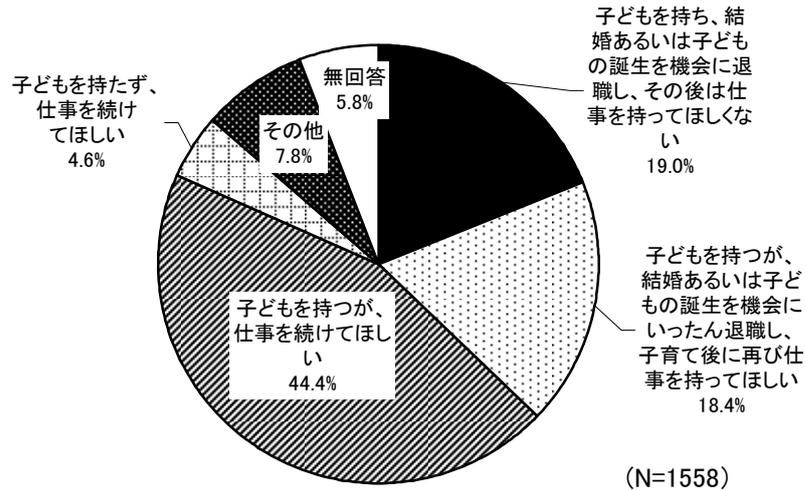
図表II-33 自分自身



② パートナー

一方、パートナーについては「子どもを持つが、仕事を続けてほしい」が44.4%で最も多く、ついで「子どもを持ち、結婚あるいは子どもの誕生を機会に退職し、その後は仕事を持ってほしくない」が19.0%、「子どもを持つが、結婚あるいは子どもの誕生を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持ってほしい」が18.4%となっている。

図表II-35 パートナー



男女別にみると、女性では「子どもを持つが、仕事を続けてほしい」の割合が著しく高いが、男性では「子どもを持ち、結婚あるいは子どもの誕生を機会に退職し、その後は仕事を持ってほしくない」と「子どもを持つが、結婚あるいは子どもの誕生を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持ってほしい」の割合がそれぞれ約3割になっている。

図表II-36 パートナー(クロス集計)

	調査数	子どもを持つが、仕事を続けてほしい	子どもを持ち、結婚あるいは子どもの誕生を機会に退職し、その後は仕事を持ってほしくない	子どもを持つが、結婚あるいは子どもの誕生を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持ってほしい	子どもを持たず、仕事を続けてほしい	その他	無回答		
		割合	割合	割合	割合	割合	割合		
市全体	1558	296	286	692	72	121	91		
		100.0	19.0	18.4	44.4	4.6	7.8	5.8	
性別	男	831	278	230	127	38	99	59	
			100.0	33.5	27.7	15.3	4.6	11.9	7.1
	女	721	16	53	565	34	22	31	
			100.0	2.2	7.4	78.4	4.7	3.1	4.3
住まい	茨木市内	481	109	86	199	24	35	28	
			100.0	22.7	17.9	41.4	5.0	7.3	5.8
	茨木市以外の地域	886	150	165	410	38	74	49	
			100.0	16.9	18.6	46.3	4.3	8.4	5.5

【参考資料】 アンケート調査票

茨木市のまちづくりに関する高校生アンケート

《ご協力お願い》

市では、「茨木市総合計画」という10年間のまちづくりの方針に基づいて、様々な仕事を行っています。この計画は平成27年度を目標にしているため、これに続く新しい「総合計画」をつくる取り組みを進めているところです。

新しい計画づくりにあたり、次の10年後の社会を担う高校生の皆さんが日頃考えていることや、まちづくりに関するアイデアなどをお伺いし、基礎資料として役立てていきたいと考えています。

この調査は無記名で回答いただき、調査の結果はすべて統計的に処理しますので、ご迷惑をおかけすることは決してありません。アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようお願いいたします。

平成25年1月

茨木市

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたの性別について、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 男	2. 女
------	------

問2 あなたは茨木市が好きですか。あてはまるものに1つだけ○をつけてください。また、その理由があれば記述してください。

1. 好き	2. 少し好き	3. どちらでもない
4. 少し嫌い	5. 嫌い	6. わからない

理由

問3 あなたのお住まいについて、あてはまるものに1つだけ○をつけてください。

1. 茨木市内 → 問4にお進みください。
2. 茨木市以外の地域 → 問7にお進みください。

2. (茨木市内にお住まいの方) 今後の定住意向について

問3でお住まいを「1. 茨木市内」とお答えになった方にお聞きします。

問4 あなたは、大学生や社会人になってからも茨木市に住み続けたいと思いますか。

1. ぜひ住みたい
2. できれば住みたい
3. できれば住みたくない
4. 住みたくない
5. わからない

問5 (問4で「1. ぜひ住みたい」または「2. できれば住みたい」とお答えになった方にお聞きします。)

茨木市内に住みたい理由について、最もあてはまるものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 住み慣れたまちだから | 2. 友人がいるから |
| 3. 家族がいるから | 4. 交通の便がよいから |
| 5. いろいろな施設が整っているから | 6. 遊び場所があるから |
| 7. 買い物が楽しめるから | 8. 自然環境に恵まれているから |
| 9. 進学したい学校が近くにあるから | 10. やりたい仕事がありそうだから |
| 11. 今後まちが繁栄・発展すると思うから | 12. まちのイメージがよいから |
| 13. その他(具体的に:) | 14. 特に理由はない |

問6 (問4で「3. できれば住みたくない」または「4. 住みたくない」とお答えになった方にお聞きします。)

茨木市内に住みたくない理由について、最もあてはまるものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| 1. なじみのないまちだから | 2. 友人がいないから |
| 3. 家族と離れて暮らしたいから | 4. 交通の便がよくないから |
| 5. いろいろな施設が整っていないから | 6. 遊び場所がないから |
| 7. 買い物をするところがないから | 8. 自然環境がよくないから |
| 9. 進学したい学校が近くにないから | 10. やりたい仕事がないから |
| 11. 今後まちが繁栄・発展すると思えないから | 12. まちのイメージがよくないから |
| 13. その他(具体的に:) | 14. 特に理由はない |

3. (茨木市以外の地域にお住まいの方) 今後の移住意向について

問3でお住まいを「2. 茨木市以外の地域」とお答えになった方にお聞きします。

問7 あなたは、社会人や大学生になり、将来自立する時に、茨木市に住みたいと思いますか。

1. ぜひ住みたい
2. できれば住みたい
3. できれば住みたくない
4. 住みたくない
5. わからない

問8 (問7で「1. ぜひ住みたい」または「2. できれば住みたい」とお答えになった方にお聞きします。)

茨木市内に住みたい理由について、最もあてはまるものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. なじみのあるまちだから | 2. 友人がいるから |
| 3. 交通の便がよいから | 4. いろいろな施設が整っているから |
| 5. 遊び場所があるから | 6. 買い物が楽しめるから |
| 7. 自然環境に恵まれているから | 8. 進学したい学校が近くにあるから |
| 9. やりたい仕事がありそうだから | 10. 今後まちが繁栄・発展すると思うから |
| 11. まちのイメージがよいから | 12. その他(具体的に:) |
| 13. 特に理由はない | |

問9 (問7で「3. できれば住みたくない」または「4. 住みたくない」とお答えになった方にお聞きします。)

茨木市内に住みたくない理由について、最もあてはまるものに3つまで○をつけてください。

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| 1. なじみのないまちだから | 2. 友人がいないから |
| 3. 交通の便がよくないから | 4. いろいろな施設が整っていないから |
| 5. 遊び場所がないから | 6. 買い物をするところがないから |
| 7. 自然環境がよくないから | 8. 進学したい学校が近くにないから |
| 9. やりたい仕事になさそうだから | 10. 今後まちが繁栄・発展すると思えないから |
| 11. まちのイメージがよくないから | 12. その他(具体的に:) |
| 13. 特に理由はない | |

6. 主要な分野ごとの取り組みについて

問 12 市が行う文化・芸術に関する取り組みについて、あなたが最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 優れた文化・芸術に触れる機会の充実（イベント等の充実）
2. 市民の自主的な文化・芸術活動への支援（サークル活動への支援）
3. 文化・芸術に関する情報発信
4. 文化・芸術施設の充実
5. 子どもたちが文化・芸術に触れる機会の充実
6. 若手芸術家の育成
7. 新たな文化・芸術の創造
8. 歴史的建造物、まちなみの保全
9. 歴史・文化資源を活かした観光振興
10. 国内や海外の友好・姉妹都市との文化交流の促進
11. その他（具体的に： _____)
12. よくわからない

問 13 市が行う防災に関する取り組みについて、あなたが最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 道路の整備による避難経路の確保
2. 建物の耐震化工事や耐震診断の促進
3. 下水道（雨水）や川の整備による浸水被害対策
4. がけ崩れなどの危険な場所の把握と整備
5. 災害発生時の情報伝達手段の整備
6. 災害に備えた物資の備え
7. 災害時の避難場所（公共施設）の充実
8. 様々な災害を想定した防災訓練や講習会の開催
9. 小・中学校や幼稚園・保育所での防災教育
10. 避難場所の確認や、家庭における災害への備えなど、市民が意識を高く持つこと
11. 地域の自主的な防災組織への支援
12. その他（具体的に： _____)
13. よくわからない

問 14 大学連携（市内等にある大学が、高校・高校生等と連携して地域の活性化や地域貢献を行うこと）に関する取り組みについて、あなたが最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

1. 大学教員による高校生向け講座の実施
2. 大学の通常授業の受講
3. 大学生・高校生の連携によるまちづくり活動（ボランティア活動等）への参画
4. 大学施設（図書館・グラウンド等）の市民への開放
5. 大学生によるクラブ活動（中学校・高校）の支援
6. その他（具体的に： _____)
7. 特に期待することはない

問 15 市中心部でのまちづくりについて、あなたが期待することは何ですか。あてはまるものに2つまで○をつけてください。

1. 市のシンボルエリアとして、JR茨木駅・阪急茨木市駅周辺での魅力づくり
2. 魅力的なお店の立地や、イベントなどの開催による商店街のにぎわいづくり
3. 大規模なスーパーや商業・娯楽施設などの立地
4. 文化施設や交流施設といった、駅周辺にあると便利な施設の整備
5. 歩行者や自転車が安心して移動できる環境整備や改善
6. その他（具体的に： _____)
7. 特に期待することはない

問 16 子育て支援のための取り組みとして、あなたが最も重要だと思われるものはどれですか。あてはまるものに3つまで○をつけてください。

1. 保育所等の子どもを預かる場所の充実
2. 子育て相談窓口の充実
3. 男性の子育て参加を進めるための取り組み
4. 身近な地域でお互いに子育てを助け合うグループづくり
5. 仕事と子育てを両立できるようにするための企業への働きかけ
6. 小・中学校における特色のある教育
7. 子育てに必要な金銭的な支援の充実（例：子どもの医療費の補助など）
8. 住宅や公園等の充実など、子育て家庭に配慮したまちづくり
9. 虐待防止など、地域全体で子どもに関心をもって見守る体制の充実
10. その他（具体的に： _____)
11. よくわからない

7. まちづくりにおける市民参画について

問 17 まちづくりへの市民の関わり方についてお聞きします。あなたの考えに最も近いと思われるものに1つだけ○をつけてください。

1. 市の大きな目標を考えることから具体的な事業を考えることまで、自分も参加して、市役所といっしょになって考えたい
2. 市の大きな目標を考えることは市役所に任せるが、具体的な事業を考える段階では自分も参加して、市役所といっしょになって考えたい
3. 市の大きな目標を考えることから具体的な事業を考えることまで、基本的には市役所に任せて、自分は意見を述べる機会があれば良い
4. よくわからない
5. その他（具体的に： _____)

8. 理想のライフコース（生き方）について

問 18 あなたの理想とするライフコース（生き方）はどのようなタイプですか。あなたの考えに最も近いものに○をつけてください。

①あなた自身について

1. 結婚し子どもを持ち、結婚あるいは子どもの誕生を機会に退職し、その後は仕事を持たない
2. 結婚し子どもを持つが、結婚あるいは子どもの誕生を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ
3. 結婚し子どもを持ち、仕事も続けたい
4. 結婚するが子どもを持たず、仕事を続けたい
5. 結婚せず、仕事を続けたい
6. その他（具体的に： _____)

②パートナーについて

1. 子どもを持ち、結婚あるいは子どもの誕生を機会に退職し、その後は仕事を持ってほしくない
2. 子どもを持つが、結婚あるいは子どもの誕生を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持ってほしい
3. 子どもを持つが、仕事を続けてほしい
4. 子どもを持たず、仕事を続けてほしい
5. その他（具体的に： _____)



青少年健全育成運動キャラクター
ほっとけん！



子育て応援キャラクター
いばらっきーちゃん

